

第1回高島市地域包括支援センター運営協議会 議事録（要旨）

会議名	第1回 高島市地域包括支援センター運営協議会
開催日時	令和7年7月17日（木）午後1時30分～午後3時30分
場所	高島市役所 新館3階 会議室9・10
委員出席者	永田委員、本多委員、野上委員、上村委員、都井委員、川島委員、伊妻委員、谷口委員、朝香委員、越智委員、松本委員、伊原委員、西村委員、明保能委員、青谷委員（順不同）
委員欠席者	井上委員、中清水委員
事務局	<p>【健康福祉部】 部長 木下、次長 古谷</p> <p>【高齢者支援課】 課長 安原、主監 上原、参事 越谷・落川、保健師 多胡・前川 主査（社会福祉士） 南条・上藤</p> <p>【介護保険課】 課長 井上、参事 澤田</p> <p>【健康推進課】 課長 齊藤</p> <p>【あいりんつむぎ地域包括支援センター】 田中管理者</p> <p>【高島・安曇川地域包括支援センター】 白井所長</p>
会議次第	<p>1. 開会</p> <p>2. 議題</p> <p>（1）令和6年度事業実績報告および決算報告（案）について</p> <p>①高島市地域包括支援センター</p> <p>②あいりんつむぎ地域包括支援センター</p> <p>③高島・安曇川地域包括支援センター</p> <p>（2）令和7年度事業の方向性について</p> <p>（3）その他</p> <p>3. 閉会</p>
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和7年度第1回高島市地域包括支援センター運営協議会次第 ・ 資料1 令和6年度 高島市地域包括支援センター 事業実績報告・重点事業実績 令和7年度 各地域包括支援センター 重点事業 ・ 資料2 令和6年度 高島市地域包括支援センター 決算見込みについて ・ 資料3 令和6年度 あいりんつむぎ地域包括支援センター 収支決算書（案） ・ 資料4 令和6年度 高島・安曇川地域包括支援センター 収支決算書（案） ・ 資料5 令和7年度 高島市地域包括支援センター運営方針 ・ 資料6 令和7年度 あいりんつむぎ地域包括支援センター 事業計画 ・ 資料7 令和7年度 高島・安曇川地域包括支援センター 事業計画 ・ 別紙 令和7年度 高島市地域包括支援センターの業務 ・ 参考資料1 高島市基幹型、委託型地域包括支援センター役割分担表

1. 開会

木下部長より開会

委員出席者の確認 17名中15名の出席により、本会議は成立。

永田会長挨拶

2. 報告事項 令和6年度事業実績報告および決算報告

事務局	資料1に基づき報告
委員	通所型Cが伸び悩んでいる。リハビリでも課題となっている。まわしにくさある。包括として増やしにくい理由があれば教えてほしい。病院のMSWなどに周知しているかどうかを教えてほしい
事務局	昨年度病院のMSWには説明に行っており周知している。利用者の声として継続して運動したいという声があり、短期集中のサービスでなく継続のサービスを希望されている現状。医療機関と連携してすすめていきたい。ニーズ調査等で利用者のニーズもさらに探していきたい。
委員	利用者にすすめるタイミングは？包括がする？
事務局	医療機関からすすめてもらえたらと思うので、MSWにもさらに働きかけていきたい。
委員	居宅の方の介入もあると思うので、居宅の人への周知も必要ではないか。
委員	要支援者が増えている現状。訪問Bはじめシルバー人材センターの実績も減少している。担い手不足だけでなく、報酬が少ない等の問題はないのか。
事務局	単価については今まで見直ししていない。今後検討していく。民間の利用が増えている現状はあり、訪問Bが減っていると考えている。
委員	事業所として介護サービスの単価の方が高いので訪問Bにつながらないのでは。今後の展望は？
事務局	生活支援ボランティアの養成講座を行い、担い手を増やしていき市としてはサービス継続をしていく方向。
委員	シルバー人材センターの意向はどうなのか？
事務局	シルバー人材センターの意向はわかりません。今後事業所とも協議を重ね、実施意向や単価設定などについて検討していきたい。
委員（会長）	他の地域でも単価設定として介護サービスの方が利益が出るため、訪問Bの選択が減っているのではないかと。シルバー人材センターの運営も厳しいと思うので単価設定等検討してはどうか。
委員	認定率が増えていく中で、年代ごとの割合等の詳細があれば教えてほしい。 原因疾患の傾向があれば教えてほしい。 民生委員の配置の状況…自分から発信する高齢者が少ない中で民生委員の存在は心強いと思う。配置がない地域はあるのか、その支援についてはどうか。
委員	市内での民生委員の欠員はある。地域の事情で地域の選定ができない場合もある。 高齢者自身にもそれぞれ考えがあり、各民生委員も対応に苦慮している。 こういった要望の聞き方をすればいいのかなど。私も委員を9年しているが、高齢者の考えがそれぞれ違うなあ実感している。民生委員も就業している関係で地域の現状を把握しき

	れない場合もある。
事務局	民生委員の現状。空白地域がある。今津3地域。団地、市営住宅は成り手がいない。高島地域では個別に訪問してなり手を探しているが、地域のつながりが少なくなって誰がなれるのかわからないという声もあがっている。社会福祉課としては空白地域を減らせるよう対策を考えているところ。
事務局	認定率は令和6年10月時点で65-74歳3.9%、75-84歳17.9%、85歳62.7%。
事務局	介護保険課からいただいた高齢者支援課で作成したデータ。(データ提示) こういったデータを分析し、効果的なフレイル予防、認知症予防となるよう、健康推進課の行う一体的事業、高齢者支援課の一般介護予防事業などを実施している。
委員	包括の重点事業の根拠をデータで見せてもらえてよかった。高齢者自身の心構えとして、こういうデータがあると健診を受けるや介護予防に取り組む動機づけになると思う。 市民が自分たちで考える機運を高めていけるとよい。市民に発信をしていただきたい。
委員(会長)	認定率などの分析を深めていけるとよい。

3. 令和7年度高島市地域包括支援センターの重点事業

事務局	資料1に基づき報告
委員	朽木の自治会長で集まった時に、「介護予防に力を入れていかんな」という話が出た。 朽木には運動器具をおけるような建物もないし、安曇川や高島はあるのかな。リハビリステーションオアフができて、要介護1からしか利用できないと聞いている。有料でも良いから地域の人が気軽に使えるようにしてもらえたら、地域の人フレイル予防につながるのではないかと思います。
委員	うちの法人でさせてもらっている。事業が安定してきたら前向きに検討していきたい。
委員(会長)	認定率をおやみに上げないためにも介護予防に市としても取り組んでもらいたい。 普段の活動を続けていくのも大事な健康づくりである。
委員	介護サービス相談員10名が22カ所の施設を訪問している。介護度が重い方や認知症の方にお出会いすることが多い。自分たちの訪問が風通しをよくしていきたいと思う。 キャラバンメイトの活動をさせてもらっている。認知症についての家族の受け入れが悪いと感じる。そういう方にどう関わっていけたらよいか教えてほしい(南部包括に質問)
高島・安曇川地域包括支援センター	包括に相談をして、一緒に考えていけたらよい。 通院なども検討していくなど寄り添って支援していきたく。
委員	サロンの企画や福祉推進員の活動を行っている。自分の地域は見守り活動は年2回なのだが、毎月実施している浜分の見守り活動の内容を教えてください。 介護予防のオリジナル体操について初めて知った。広報で周知していたのか知りたい。
事務局	浜分区は毎月炊き出し、配食弁当をしておられる。そういった活動はハードルが高い部分があると思うが、藤江区は見かけたら声をかけるという活動をされている。参考にさせていただきたい。

事務局	介護予防オリジナル体操については、広報4月号、HPにも同じタイミングで公開している。DVD作成し、今後出前講座でフレイル予防の講座を受けていただいたら貸与もできる。
委員	市外の居宅につないだ事例はどうか？ 私の住む区は、毎月1回サロンを開催している。特にテーマはなく集まってしゃべる。桜の時期は花見、グランドゴルフ、駐在所に防犯講座など行っている。
あいりんつむぎ 地域包括支援センター	住所は今津だが、居所は大津だったため、市外の居宅事業所になった。
委員	介護予防の推進。自ら介護予防に取り組める基盤づくり。通いの場をまめにいろいろしていただけたら有難いなと思います。
委員（会長）	認定を受けていない方が通える場はやはり大切。
委員	入退院研修の紹介。在宅での生活を続けるために、安心して入院できるというのも大切。入退院支援に基点をおいた研修を行う。今津病院から事例提供いただき実際に即した研修となっている。 自己決定の支援を強化していくことについてもう少し説明いただきたい。
委員（会長）	マイウェイノートの活用など進めてもらえたら。県の支援もお願いしたい。

4. 副会長挨拶